

宣 言

祖國日本は今や將に非常時の頂點にありと言はねばならぬ。即ち或る一部の者の言ふ非常時は既に解消せり後の聲の影にこそ吾等新日本建設への動向脈々として感ずるものである。所謂靜中動ありの機微をこの一見渡靜状態に陥りたる非常時日本の底に瞭然と而も愛國的示唆のものに痛感せざるを得ないのである。

然らば斯く言ふ機微動向とは果して何であるか、これ來る可き黎明の朝に古き資本主義を其の積弊共に一掃し國民大衆を一部支配階級の壓制下より完全に解放し眞に吾が國体の精華一君萬民主義に立脚せる新日本建設への滔々たる輿論の足音、斧伐のこだまである、この重大局面に際し我等農民の使命は果して如何に

思ふに現下の農村は眞日々衰退し農民生活の窮乏は日と共に深刻化して停止する所を知らず。

夫れ農は國の基にして一日も之を忽にすべからず、農安くして國安く農豊かにして國富むべし、然るに只徒らに資本主義の發展のみ阿波し農村を之が犠牲として一顧だに與へざる現下の情勢にては如何にして農豊かにして國安からんや。

我等農民はこの現状を認識し愛國の至情止み難く遂に茲に總蹶起をなし資本主義、共產主義の毒牙より重祖國日本の國体を擁護し國家を百年寶の安泰に置くと同時に全國千餘萬耕作農民の生活保證の聖戰に参加すべく吾が糸島郡聯合會は孤々の聲を擧げて以來茲に數年最も勇敢なる活動を續けて來たものである、然して今更に郡聯合大會を開催するに當り吾等はこの決意を新にし日頃の信念に向つて勇往せんことを誓ふ。